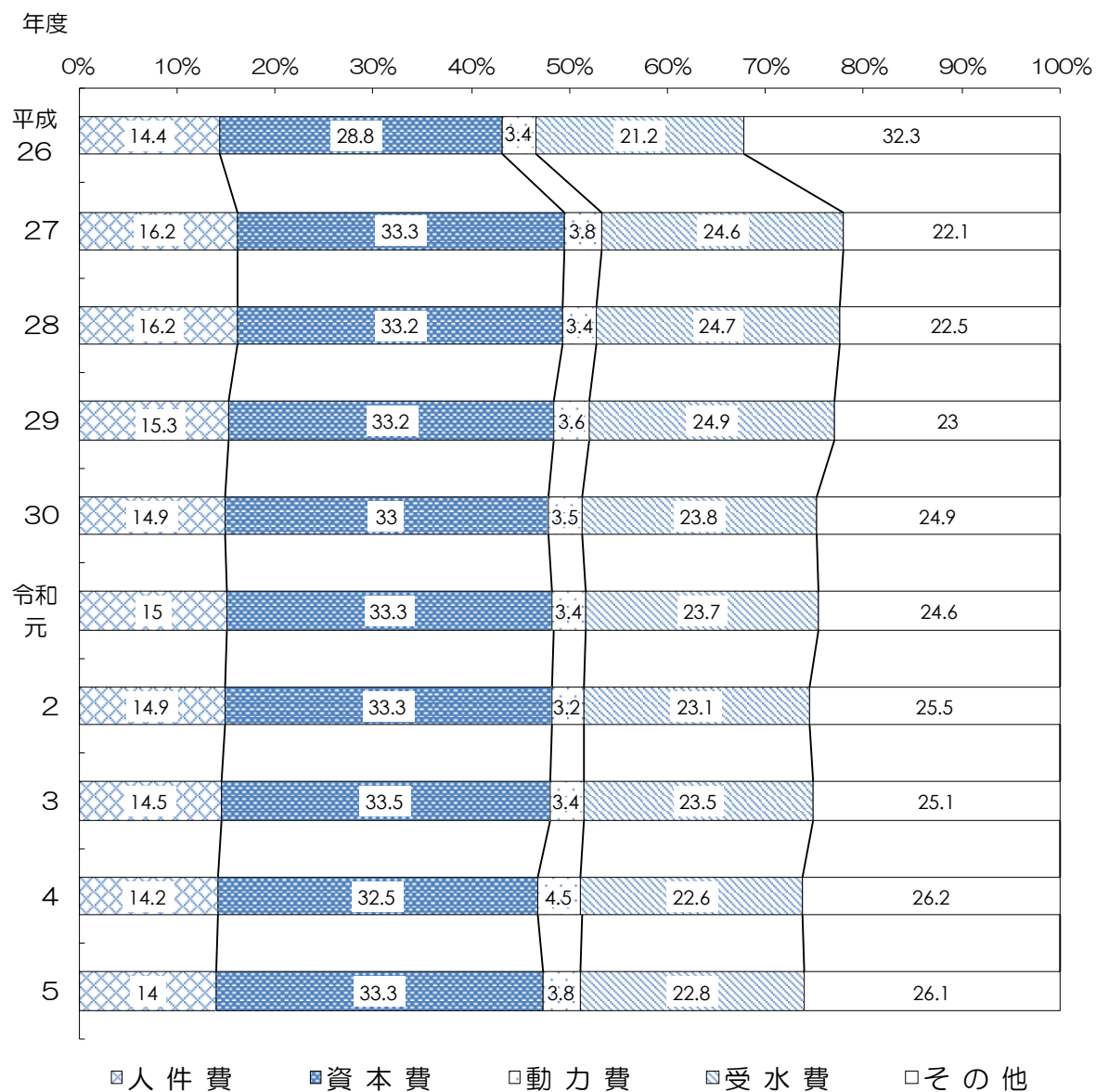


(2) 費用構成

構成費用は近年、ほぼ横ばいになっている。令和 4 年度に動力費の構成割合の増加がみられたものの、令和 5 年度は例年の水準に戻っている（図―8）。

図―8 費用構成（上水道）



※ 資本費＝支払利息＋減価償却費

これを費用内訳別に平成 26 年度を 100 とした指数で表すと、令和 5 年度の人件費は平成 26 年度の 26.16 円に対して 22.79 円で指数 87 なり、資本費では平成 26 年度の 41.83 円に対して 42.97 円で指数 102 となっている（表－12）。

表－12 上水道給水原価に占める費用内訳の推移（有収水量 1 m³ 当たり）

年度	人 件 費		資 本 費		動 力 費		受 水 費		そ の 他		合 計	
平成 26	26.16	100	41.83	100	6.19	100	38.46	100	58.35	100	170.99	100
27	25.41	97	42.07	100	5.96	96	38.61	100	34.98	59	147.03	85
28	25.06	95	41.27	98	5.30	85	38.37	99	34.28	58	144.28	84
29	23.75	90	41.43	99	5.51	89	38.59	100	34.67	59	143.95	84
30	23.25	88	41.10	98	5.48	88	37.10	96	37.96	65	144.89	84
令和 元	23.46	89	41.91	100	5.36	86	36.96	96	37.29	63	144.98	84
2	23.16	88	41.69	99	4.95	79	36.00	93	38.95	66	144.75	84
3	22.81	87	42.82	102	5.34	86	37.07	96	37.13	63	145.17	84
4	23.06	88	42.97	102	7.31	118	36.83	95	41.34	70	151.51	88
5	22.79	87	44.53	106	6.14	99	37.03	96	41.62	71	152.12	88

（指数は、整数値で切捨て）

※ 左欄は有収水量 1 m³ 当たりの額（単位：円）

※ 右欄は平成 26 年度を 100 とした場合の指数

※ 資本費＝支払利息＋減価償却費－長期前受金戻入相当額